



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社
 コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 櫛田晃裕 TEL 03-6665-0639
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	70,702	8.8	4,803	26.9	5,173	45.9	3,286	105.7
25年3月期第3四半期	64,954	8.5	3,785	12.0	3,546	23.2	1,597	61.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,856百万円 (81.3%) 25年3月期第3四半期 2,679百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	109.17	98.01
25年3月期第3四半期	53.06	47.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	84,202	43,932	52.0	1,454.29
25年3月期	77,521	40,205	51.7	1,330.77

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 43,786百万円 25年3月期 40,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	10.0	6,600	21.0	6,900	27.1	4,100	50.4	136.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	32,001,169株	25年3月期	32,001,169株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,892,798株	25年3月期	1,891,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	30,108,814株	25年3月期3Q	30,109,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求する」ことを基本戦略に、持続可能な成長力と収益基盤を確立することを経営目標に掲げ、以下の諸施策を実行中です。

- ① 日本の事業部制の成功を国別に移植
- ② 新興国成長市場の開拓
- ③ 高収益サプライ事業の確立
- ④ 収益力強化(事業、用途、製品、コスト)
- ⑤ 全体最適化(IT、SCM、財務、人財育成)
- ⑥ 環境保全ビジネスの本業化

これらの活動の結果、特に海外事業における売上の回復と収益性の改善が見られたほか、日本においても当第3四半期から景況感改善の動きをとらえ順調に回復してまいりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は70,702百万円(前年同期比108.8%)、営業利益4,803百万円(同126.9%)、経常利益5,173百万円(同145.9%)、四半期純利益3,286百万円(同205.7%)となりました。

なお、第3四半期連結累計期間として売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高を更新しております。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

<日本>

当第3四半期連結累計期間においては、これまで製造業を中心に設備投資需要については慎重な姿勢が見られ、運輸配送業向けなど非製造業向けを中心に合理化需要は限定的でありましたが、当第3四半期に入りますと、次第に消費に牽引される形で生産活動にも回復傾向が表れるようになりました。こうした景況感改善の動きをとらえた積極的な営業活動を展開してきたことにより、用途開拓の成果が徐々に顕在化し、電子プリンタを中心とするメカトロ製品の引き合いが活発化するとともに、サプライ製品の需要も回復してまいりました。

今後一層コストダウンへの取り組みを強化するとともに、成長市場の開拓や用途提案による新たな需要開拓を進めてまいりますが、足元では2014年4月からの消費税率変更需要も徐々に動き出しており、当社のノウハウを最大限活かした営業活動を展開してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は49,491百万円(前年同期比101.5%)、営業利益3,346百万円(同102.3%)となりました。

<米州>

北米市場においては、運輸業界向けや食材管理用OEM商談が堅調であったほか、アパレル向けのレーザープリンタの引き合いが増加するなど好調に推移しました。南米市場においてもACHERNAR社(アルゼンチン)の業績が順調に寄与しております。

これらの取り組みにより、売上高は6,920百万円(前年同期比131.1% [為替影響を除く前年同期比105.5%])、営業利益376百万円(同187.6%)となりました。

<欧州>

欧州市場では、各国でシール・ラベル製品の販路開拓を着実に進め、採算性を重視した販売政策を推進してまいりました。英国での小売業向けモービルソリューション商談、ドイツでの大手アパレル向けRFID商談など、着実に成果が上がっております。また、2013年7月より事業形態を販売機能に絞り、マドリッドで新たに営業活動を再開したスペイン事業におきましては、当第3四半期に営業黒字へ転換いたしました。今後さらに安定的な収益力を確保してまいります。

これらの取り組みにより、売上高5,285百万円(前年同期比134.4% [為替影響を除く前年同期比105.6%])、営業利益154百万円(前年同期は営業損失155百万円)となりました。

<アジア・オセアニア>

アジア市場は、新興国の経済成長のペースが鈍化していることから力強さに欠けるものの、第2四半期より回復基調となった中国市場や、前年度下期に営業を開始したインドネシア及びベトナムの売上が新たに加わるなど、新重点市場が計画通りに伸長し前年を上回りました。

アジア新興国での中間所得層の拡大を背景とした日系企業のアジアシフトへの動きをとらえるのと同時に、安心・安全への需要が拡大する傾向から、「ヘルスケア、自動車、運輸・物流、総合スーパー・コンビニ」の4業種について日本に専任チームを設け支援を強化しております。

またオーストラリアにおいて、独自のRFID技術を持つMAGELLAN TECHNOLOGY社の事業を譲り受け、2013年12月より当社現地法人SATO VICINITY PTY LTD.として営業を開始しました。特にヘルスケア市場において実績のある同技術の獲得により、当社グループはICチップやタグ、RFIDプリンタ、RFIDリーダー等の機器、トレーサビリティなどのシステム、保守までをワンストップで提供できる唯一の企業となりました。今後ヘルスケア市場へRFIDソリューションの拡販を加速化してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は9,006百万円（前期比129.4% [為替影響を除く前期比105.6%]）、営業利益1,012百万円（同235.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、84,202百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,680百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金、有形固定資産、投資その他の資産の増加等によるものです。なお純資産は、配当金の支払いを行った一方、四半期純利益の計上、為替換算調整勘定が増加したことなどにより3,727百万円増加し、43,932百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、15,246百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,254百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8,252百万円の増加（前年同四半期比320.2%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益5,166百万円、減価償却費1,564百万円、未払金の増加額1,047百万円、法人税等の還付額1,035百万円等であり、主なマイナス要因はたな卸資産の増加額269百万円、法人税等の支払額858百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,367百万円（前年同四半期比324.2%）となりました。

主な要因は、投資有価証券の取得による支出977百万円、有形固定資産の取得による支出1,969百万円、無形固定資産の取得による支出1,034百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,256百万円の減少（前年同四半期比48.9%）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出671百万円、配当金の支払額1,138百万円があった一方で、長期借入れによる収入1,000百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、海外の収益性が大きく改善していること、及び日本における足元の消費税率変更需要の高まりなどを受けて、営業利益予想を上方修正いたします。また当第3四半期連結累計期間において、円安の進行に伴う為替差益を計上したことにより、経常利益及び当期純利益に関しましても、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

通期の連結業績予想

売上高	96,000百万円	(前回予想 96,000百万円)
営業利益	6,600百万円	(同 6,500百万円)
経常利益	6,900百万円	(同 6,500百万円)
当期純利益	4,100百万円	(同 3,700百万円)

なお、前提となる期中平均為替レートは、1米ドル100円、1ユーロ134円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,577	15,826
受取手形及び売掛金	20,942	21,508
有価証券	93	209
商品及び製品	6,632	7,202
仕掛品	190	249
原材料及び貯蔵品	1,858	2,253
未収還付法人税等	1,035	—
その他	3,446	4,017
貸倒引当金	△86	△109
流動資産合計	46,690	51,156
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,657	8,125
その他（純額）	11,037	12,134
有形固定資産合計	18,694	20,259
無形固定資産		
のれん	4,774	4,521
その他	1,825	2,516
無形固定資産合計	6,600	7,038
投資その他の資産	5,536	5,748
固定資産合計	30,831	33,046
資産合計	77,521	84,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,180	5,517
短期借入金	3,954	3,266
未払金	13,372	14,022
未払法人税等	478	841
引当金	231	304
その他	4,187	4,864
流動負債合計	27,405	28,816
固定負債		
新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	1,041	2,039
退職給付引当金	1,324	1,423
その他	2,545	2,990
固定負債合計	9,911	11,453
負債合計	37,316	40,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	30,577	32,719
自己株式	△3,460	△3,461
株主資本合計	39,247	41,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	51
為替換算調整勘定	820	2,346
その他の包括利益累計額合計	821	2,398
新株予約権	—	17
少数株主持分	136	129
純資産合計	40,205	43,932
負債純資産合計	77,521	84,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	64,954	70,702
売上原価	37,915	40,819
売上総利益	27,039	29,883
販売費及び一般管理費	23,254	25,080
営業利益	3,785	4,803
営業外収益		
受取利息	37	45
受取配当金	0	0
為替差益	—	247
受取賃貸料	106	118
その他	70	194
営業外収益合計	214	606
営業外費用		
支払利息	83	99
為替差損	236	—
その他	133	136
営業外費用合計	453	235
経常利益	3,546	5,173
特別利益		
固定資産売却益	6	23
特別利益合計	6	23
特別損失		
固定資産除却損	7	2
固定資産売却損	2	28
為替換算調整勘定取崩額	138	—
特別損失合計	148	30
税金等調整前四半期純利益	3,404	5,166
法人税、住民税及び事業税	520	1,210
法人税等調整額	1,281	661
法人税等合計	1,802	1,871
少数株主損益調整前四半期純利益	1,602	3,294
少数株主利益	4	7
四半期純利益	1,597	3,286

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,602	3,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	50
為替換算調整勘定	1,076	1,510
その他の包括利益合計	1,076	1,561
四半期包括利益	2,679	4,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,667	4,863
少数株主に係る四半期包括利益	11	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,404	5,166
減価償却費	1,412	1,564
のれん償却額	615	729
固定資産売却損益(△は益)	△3	5
固定資産除却損	7	2
為替換算調整勘定取崩額	138	—
引当金の増減額(△は減少)	△22	52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	51	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	43
受取利息及び受取配当金	△37	△45
支払利息	83	99
為替差損益(△は益)	20	△371
売上債権の増減額(△は増加)	△570	△26
たな卸資産の増減額(△は増加)	404	△269
仕入債務の増減額(△は減少)	216	165
未払金の増減額(△は減少)	777	1,047
その他	△562	△26
小計	5,942	8,158
利息及び配当金の受取額	35	40
利息の支払額	△83	△98
事業再編による支出	—	△25
法人税等の支払額	△3,243	△858
法人税等の還付額	—	1,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,650	8,252

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△447	△712
定期預金の払戻による収入	454	677
投資有価証券の取得による支出	△16	△977
有形固定資産の取得による支出	△810	△1,969
有形固定資産の売却による収入	45	144
無形固定資産の取得による支出	△418	△1,034
事業譲受による支出	△291	△589
その他	63	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,420	△4,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,961	△74
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△508	△671
新株予約権付社債の発行による収入	5,000	—
リース債務の返済による支出	△152	△370
配当金の支払額	△1,047	△1,138
その他	101	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,569	△1,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	310	626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,029	3,254
現金及び現金同等物の期首残高	11,377	11,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,348	15,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	48,781	5,279	3,933	6,960	64,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,019	63	168	3,784	7,035
計	51,801	5,342	4,102	10,744	71,990
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,273	200	△155	430	3,748

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,748
セグメント間取引消去	14
のれんの償却額	△33
棚卸資産の調整額	58
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	3,785

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	49,491	6,920	5,285	9,006	70,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,915	56	209	5,511	9,692
計	53,406	6,976	5,494	14,517	80,395
セグメント利益	3,346	376	154	1,012	4,889

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,889
セグメント間取引消去	21
のれんの償却額	△41
棚卸資産の調整額	△63
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	4,803

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。